

## ソフトウェア文章化作法 初級（4119048）

相手に伝わる文章を書くための日本語の基礎と考え方のポイントを学びます。日経BP出版『SEとプロマネを極める 仕事が早くなる文章作法』の元となった、JUAS「文章化作法プロジェクト」（2002～2004年）の成果をセミナー化。日本語力に造詣の深い先達の知恵を凝縮しました。

|         |   |
|---------|---|
| 開催日時    | 2024年1月23日(木) 10:00-17:00<br>2024年1月24日(金) 10:00-17:00  |
| カテゴリ    | 業務遂行スキル <a href="#">ヒューマンズキタ</a>  |
| 講師      | 上田志雄 氏<br>(S&Pテクノロジー株式会社 事業統括 グループ事業部 プリンシパルプロジェクトマネージャー)<br>1988年、日本国産通信(現:ソフトバンクテレコム)入社。2003年からティーン・情報ネットワーク(現:東武ガス・ネット)に転属し、アンテナ建設からシステム開発まで幅広い分野のプロジェクトを統括。2007年よりC I S (Customer Information System) 系アプリケーション構築のPMや、B 2 Cシステム開発のPM、オープン系システムのアーキテクチャを統括する部門のマネージャーとして従事。2009年から株式会社グループ全体のITシステムを取りまとめる部門にてオープン・インフラを統括するグループマネージャーとして勤務。2023年10月よりS&Pテクノロジー株式会社に勤務。<br>日本情報システム・ユーザー協会主催「ソフトウェア文章化作法」、「ITエンジニアのための文章力徹底トレーニング講座」講師。<br>主な著書に「プロマネやってはいけない」(日経BP社)、「要求を聞き出す技術」(JUAS出版)、「ITエンジニアのための伝わる文章力ドリル」(日経BP社)。 |
| 参加費     | JUAS会員/ITC:66,000円 一般:84,000円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み)【受講権利枚数2枚】   |
| 会場      | 一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (日本情報通商2丁目ビル2階)   |
| 対象      | IS部門・企画部門・SI企業等で仕様書・提案書をご担当者の方 <a href="#">詳細</a>   |
| 開催形式    | 講義、グループ演習   |
| 定員      | 25名   |
| 取得ポイント  | ※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)   |
| 特記      | ※紙書が多いセミナーです。ご自身のアーカイブとして記録していただくために大学ノートをご持参下さい。<br>※副教材として『SEとプロマネを極める 仕事が早くなる文章作法増補改訂版』(※旧タイトル『SEを極める仕事に役立つ文章作成術』)(日経BP社発行・日本情報システム・ユーザー協会編/福田修、豊田倫子 著/定価1,944税込)を差呈いたします。   |
| ITC認定時間 | 12  |

### 主な内容

#### <<受講者の声>>

- ・自分自身意識していないことを多く気づけた。
- ・日本語の表現の難しさ、伝える難しさを知りながら、それに対するポイントを学ぶことができた。
- ・語彙を含め、自分の勉強が足りていない部分に気づくことができた。
- ・普段、自分では考えないようなことを考える訓練ができた。すべての文章に通じることを教えていただいた。文章に対する視点が変わるので一度は受けてもらいたい。
- ・文章化の講義は他では受けることができないため、とても充実した時間だったと感じた。
- ・誤解なく物事を伝える言葉づかいを学ぶことができた。
- ・チームワークが多く、意見の交換も行いやすい雰囲気を作られていた。
- ・罹患文や多義文といった「誤解を招きやすい文」の実例・定義を学んだことで自身で意識できるようになった。
- ・日頃何気なく使用していた表現について改めて教えていただくことができた。また、何より楽しく学べた。

情報システム構築において、無駄な工数と費用を掛けないためには、まずは明確な仕様書が必要です。そのためには、誤解を招かない正確な日本語で仕様書を記述しなければなりません。

しかし、日本語には、主語が明確でなくても何となく相手に伝わる曖昧さがあります。また、「大量のデータ」といったような量・質などを表すあいまいな表現が存在します。仕様書などのソフトウェア文章においては、具体性がなくあいまいな表現がトラブルの元になります。

ソフトウェア文書において一番大事なことは、自分の希望・意思を相手に間違いなく伝えることです。

そのためにはどのように記述すればよいのか、日本語の基礎を見直し、日本語の特徴を把握して、ソフトウェア文章を明快に記述する「作法」を演習で実体験していただきながら習得するコースです。

#### <<カリキュラムのポイント>>

##### \*オリジナルカリキュラム

日経BP出版『SEとプロマネを極める 仕事が早くなる文章作法増補改訂版』(※)の元となった、JUAS「文章化作法プロジェクト」(2002～2004年)の成果をセミナー化。日本語力に造詣の深い先達の知恵を凝縮しました。副教材として進呈いたします。  
※旧タイトル『SEとプロマネを極める 仕事が早くなる文章作法』(日経BP社発行・日本情報システム・ユーザー協会編/福田修、豊田倫子 著/定価1,944税込)

##### \*定評があると同時に、進化し続けています

JUAS独自のオープンセミナーおよび、企業向け研修も含め、のべ4000人以上の方が受講されている、定番コースです。定番であるだけでなく、必要に応じて例文などをマイナーチェンジ。常に進化し続けています。

<<内容>> ※内容は変更する場合がございます。

<1日目>

- 1 オリエンテーション
- 2 文章力確認
  - ・日本語について
  - ・語彙力確認
- 3 日本語の特徴
  - ・品詞の並べ方
  - ・句の並べ方
  - ・助詞の使い方
- 4 紛らわしい文章
- 5 文章力向上の基礎
  - ・発想力

<2日目>

- 6 縮約による文章
  - ・縮約
  - ・要約
- 7 文書作成の基本
- 8 ビジネス文書の作成
- 9 システム企画書
  - ・状況説明
  - ・実習
  - ・成果発表
  - ・クイズ